

KTK ひゅうまん 京都

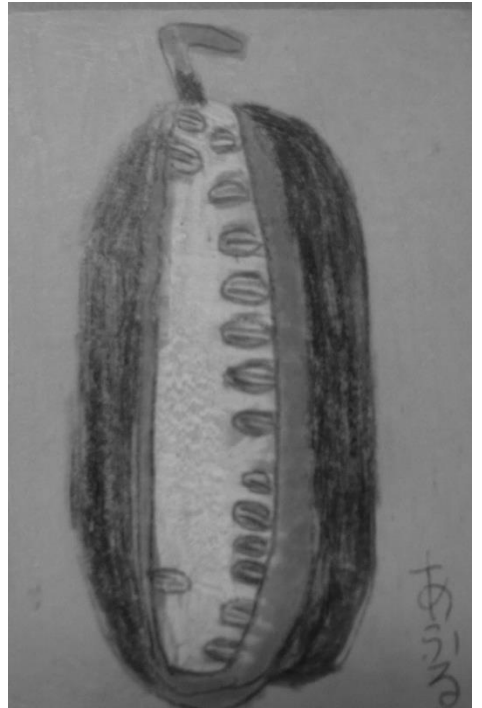
No 558 2023年5月号

編集/京都障害児者の生活と権利を守る連絡会 〒603-8324 京都市北区北野紅梅町85 弥生マンション内
編集発行責任者/池添 素 電話 090-1444-0046 購読料 1部80円 年間購読料1,000円(送料実費)

- P1 左大文字 あそび
- P2 常任委員会から 池添 素
- P3 一人暮らし始めます! 沖田 友子
- P4 血の染みついたバトシ 中村 暁
- P5 電動車いす「まんまる号」ドライバー日記 山本耕平
- P6 ジョニーの炸裂日記 ライスチョウジョナ
- P7 つれづれあらぐさ 中山 恵美子
- P8 2+2=詩 富士一文
- P9 365歩のマーチ 安藤 史郎
- P10 知っ得情報 松本 美津男

左大文字

▲広島では1994年から毎年、憲法記念日に「マイライフ マイ憲法」と題するミュージカルが上演される。憲法記念日で思い出したのは、2015年5月3日付のニューヨークタイムズ紙に意見広告を掲載した「殺すな、殺される」の語と、安倍首相が憲法を破壊して戦争ができる国にする企てを批判する英文を付した▲さらに思いが及んだのは、憲法ミュージカルの脚本を毎年書いた広島敦隆弁護士と、NYタイムズへの意見広告を提案した井上吉郎さんの二人であった。両人は昨年77歳で逝去されたが、彼らは憲法擁護を唱えるだけでなく、憲法が定着する方法を考え抜いて実行した社会運動家だった▲軍事大国への道は、ケアを家族責任とする国への道でもある。明治期の内務官僚・井上友一の『救済制度要義』(1909年)では、政府が貧困者対策を抑制するのは財政負担軽減のためではなく、「寛大な救済政策は家族や近隣の相互扶助精神を弱め」、そうした「道徳精神の弱化は国家の存立を脅かす」と述べている▲しかし、これは昔話ではない。自民党の改憲草案の第24条には「家族の相互扶助義務」が規定されている。これは戦前の「イエ」制度への回帰の提案であり、ケアを家族責任とする「福祉敵視論」にその本質がある。この論理は子育てや教育、老後生活の維持は家族責任という政策につながる。(あそぶ)



「夏野菜」
渡辺あひる

常任委員会から

〈調査始めます〉

5月から、障害当事者や家族のSOSをキャッチする仕組みを考える実行委員会を中心に、佛教大学の田中智子さんや学生さんの力を借りて、障害者や家族の暮らしの現状を聞き取りによりリアルに声を集める調査を始めます。以下、調査への協力を呼びかけを掲載します。ぜひご協力をお願いします。

私たちは、これまでの4回の「SOSをキャッチする仕組みを考えるシンポジウム」などの機会を通じて京都市内における障害のある人・家族の暮らしへの社会的支援について検討を重ねてきました。

2022年12月京都市における暮らしの場の社会資源（入所施設、グループホーム、一人暮らし）総定員は1,350名で、一方で待機者は、グループホームが233人、入所施設が59人です。待機者として把握されているのは、18歳以上の療育手帳所持者のうち家族と一緒に暮らししている人のうち4%弱にすぎず、多くの方のニーズは把握されていない状況です。潜在的なニーズも含めて、多くの

人が障害のある子どもの自立を願うとともに、家族のケア負担も感じておられることを考えると、多様な社会資源の整備は喫緊の課題といえます。

そこで、今回は、暮らしの場を求めておられるにも関わらず、そこへの移行が実現しておられない方を対象に、その実際や思いを明らかにし、京都市における障害のある人を支える社会資源の現状と課題を明らかにしたいと考えております

調査の対象・方法

調査対象は、中学生以上の療育手帳を所有されていて、現在の暮らしの場から別の場へ移行を希望されている方です。対象となる方に複数名お集まりいただき、そこに調査員が伺います。調査員はあらかじめ、調査に関する内容や個人情報取り扱いについて、十分理解しています。

調査者、および問い合わせ先について

この調査は、以下のメンバー

によって共同で実施されます。

佛教大学社会福祉学部・教員

田中智子・孔栄鐘

佛教大学社会福祉学部生

・大学院生

SOSをキャッチする仕組みを考えるシンポジウム 実行委員
メンバー

〈京障連総会です〉

5月28日（日）
10時30分から12時

NPQ法人福祉広場で開催します。記念講演は昨年実現できなかった津止正敏さんを迎えて、「ケアラー支援条例の役割と課題」をテーマに話していただきます。津止さんは長年『ひゅまん京都』の表紙エッセイを書いてくださいました。男性介護者の多彩な活動、福祉を学ぶ学生との楽しいやりとり、ご自身のこともたくさん書いてくださいました。当事者を支えるケアラーに焦点を当て、支える仕組みづくりは、これまでの活動をさらに発展させたものです。ぜひ、障害分野からも積極的に参加していきたいと思います。総会へのご参加もよろしくお願

いします。

〈いっぱいです〉

コロナ禍が落ち着き、観光客でいっぱいになってきました。白梅町付近は金閣寺をはじめ龍安寺や世界遺産がたくさんあります。当然観光客が増える地域でもあります。しかし、道が観光客でいっぱいになり、バスはもっと混みこみ。そしてすごいのがJR嵯峨野線です。しかし道もバスも電車も市民が日常使っています。観光客の皆さんにも気持ちよく京都を楽しんでもらいたいと願います。そのためには、もっと工夫が必要なのではないかと考えるこの頃です。通勤通学の時刻表はそのままに、観光客が使う時間帯の便を増やすことや車両を増やすなどが必要ではないかと思えます。観光をウリにしている京都なら、もっと工夫が必要と思うのですが、今の京都市政、子どもにも高齢者にも、働く人にも冷たいですが、観光客にも優しくない京都市政です。来年2月にある京都市長選挙では、京都に住む人にも来る人にも、誰にでも優しい街になるように力を合わせたいものです。

（事務局長 池添素）

一人暮らしが始めます！

沖田 友子（京障連代表委員）

重度の知的障害があり、車椅子の息子の一人暮らしは、無事ゴールデンウィークが過ぎました。日中利用している生活介護事業所3か所は祝日開所のこと

では私が台所に立つと横に立ち、キャベツをちぎったりフライパンに入れたり、スプーンで調味料を混ぜたり、包丁を一緒にもって野菜を切ったり・・・。じっくり集中して作業することができるところがあるということを知ってもらい、今後の活動内容について可能性を探ってみますと、活動の巾を広げるヒントにもつながりました。

ろ、お休みのところがありました。一人暮らしが始まってからの

おやつのこと話題になりました。甘いものが好きなので、本人がどうしても「食べたい」と訴えた時、我慢した方が良く、何個まで食べてよいかという事です。一日通して食べる量もあることから、親の意向は「これだけ」ということはありません。本人と相談しながら体調を見て決めてほしい、と思っています。もしかしたら、支援者側に立つと柔軟な対応をするということが一番難しいのかも

たが、支援して下さるヘルパーさんのおかげで、生活リズムを崩すことなく外出するなどして活動することができました。その間、私は小学生になった孫と何十年ぶりかでサイクリングロードで風を切って自然を満喫しました。本当に支えてくださる事業所の連携があるからこそだと感じています。

おきたともい 1960年生まれ。大学時代に障害児のボランティア活動に参加し、家族ぐるみの付き合いが始まる。後に障害者支援施設で働き、約15年間相談員として従事。フルタイムのため障害のある子どもが学童に入所するための運動に参加。現在、生活介護

3月のある日、関わる事業所の皆さんが18名、情報共有や課題解決のために集まってくださいました。居宅介護事業所、生

がたくさん出ました。自宅 子に乗っている時間はどれ位か、自宅ではフロアにどんなふうに座っているのか等々、質問

血の染みついたバトン

中村 暁（医療ジャーナリスト）

㊹ 「なんとなく、5類」

2023年5月8日、日本の新型コロナウイルス対策が節目を迎えた。感染症法上の位置づけが「新型インフルエンザ等」（2類相当）から「5類」に移行されたのだ。

その3日前の5日、WHOも「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了すると発表した。報道によるとWHOは「死者数の世界的な減少」、「ワクチンの接種や感染による集団免疫の向上」、「医療システムへの負担の軽減」等を踏まえ、終了を判断したという。そういえば日本政府は5類移行の理由をどう説明していたのだったか？ あらためて確認してみた。国の文書には i 「国民

の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある状態とは考えられないことから」とある。

それが理由。なぜ「考えられない」のか、についてはあまり説明されていない。その文書が示されたのは1月27日。その2日前、専門家たちも「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード」で議論している ii が、それは5類移行という政府方針が既に前提の議論となっており、5類移行は必然だといえるような科学的根拠が示されて

いるように読めなかった。国はずっと5類移行のタイミングを図っていて、オミクロン株流行が下火になったのを見て「えいやつ」とやった、ということかもしれない
5類移行から1週間ほど経つ

たが、今でも高齢者施設等でのクラスター発生危機が耳に入る。だがもう国や自治体から日々の状況は報告されない。高齢者がコロナで亡くなっている、私たちにそれを知る術はなくなったのである。

実は高齢者等施設入所者の「留め置き」問題について4月18日、参議院内閣委員会で共産党の井上哲士議員が突っ込んだ質問をした。京都府入院医療コントロールセンターが「心肺停止時の蘇生措置拒否の意思表示」を理由に「入院拒否」した事例を取り上げたのである。井上議員は「こんな理由で選別するということは、入院拒否をするということとは、認められるんですか」と国に詰め寄った。これに対し、政府は「一般的に申し上げれば、医師法には医師の応招義務があり、「医師の診療治療の求めがあった場合には、正当な事由がなければ診療を拒んではならない」と答弁し

た。コントロールセンターに従事する医師にも応招義務があるかとの法的問題は慎重に検討してみたいと思う。

いずれにせよそんな重大事態の総括もなされず、人々に科学的根拠もはっきり示さず、「なんとなく」コロナは5類移行されてしまった。

i 「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけについて」（2023年1月27日厚生科学審議会感染症部会）
<https://www.mhlw.go.jp/content/001046575.pdf>

ii 「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード（第115回） 議事概要」
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001057791.pdf>

電動車いす「まんまる」

ドライバードイ

13

山本耕平

が、このふらつきと転倒は、自身のエネルギーを極度に奪ってしまいます。

このことを、大学の保健センターで話すと、産業医との面談を勧められました。産業医からは、主治医の診断書とともに産業医の見解を、学部や人事に提出し、今後の働き方を考えていこうとのアドバイスを受けたのです。これは、精神障害者のソーシャルワーカーで、いつも当たり前にとつている方法です。例えば、ある会社で勤務していた人がうつ病になり、その後、復職する時には、必ず、主治医の診断書と配慮願いを持

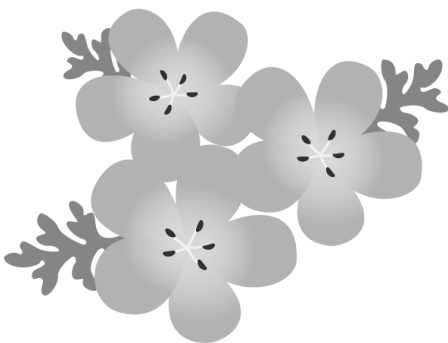
私の病気（多発性硬化症）では、感覚障害、視覚障害、運動麻痺が生じます。そのなかでも、高齢になって障害が重度化する二次進行型という病気のタイプがあります。これは最初は再発寛解型で始まるのですが、途中からゆっくりとした症状の増悪が止まらなくなり、一時的に行が停止するものの、神経症状が徐々に重くなるタイプです。しかも高齢化とともに症状が重くなります。私の場合も、このタイプです。

元々、視覚障害と知覚障害、それに運動麻痺があるので、それが、最近、激しくなってきました。複視に対して眼科医の勧めによりプリズムレンズの眼鏡を活用するようになったのですが、その日の眼球を支配する神経の動きに違いがあり、ある日は合っているもの、ある日は合っていない為に、より見づらくなります。また、深部神経障害（深部神経失調）があり、精神障害者のソーシャルワーカーで、いつも当たり前にとつている方法です。例えば、ある会社で勤務していた人がうつ病になり、その後、復職する時には、必ず、主治医の診断書と配慮願いを持

められました。産業医からは、主治医の診断書とともに産業医の見解を、学部や人事に提出し、今後の働き方を考えていこうとのアドバイスを受けたのです。これは、精神障害者のソーシャルワーカーで、いつも当たり前にとつている方法です。例えば、ある会社で勤務していた人がうつ病になり、その後、復職する時には、必ず、主治医の診断書と配慮願いを持

元々、視覚障害と知覚障害、それに運動麻痺があるので、それが、最近、激しくなってきました。複視に対して眼科医の勧めによりプリズムレンズの眼鏡を活用するようになったのですが、その日の眼球を支配する神経の動きに違いがあり、ある日は合っているもの、ある日は合っていない為に、より見づらくなります。また、深部神経障害（深部神経失調）があり、精神障害者のソーシャルワーカーで、いつも当たり前にとつている方法です。例えば、ある会社で勤務していた人がうつ病になり、その後、復職する時には、必ず、主治医の診断書と配慮願いを持

められました。産業医からは、主治医の診断書とともに産業医の見解を、学部や人事に提出し、今後の働き方を考えていこうとのアドバイスを受けたのです。これは、精神障害者のソーシャルワーカーで、いつも当たり前にとつている方法です。例えば、ある会社で勤務していた人がうつ病になり、その後、復職する時には、必ず、主治医の診断書と配慮願いを持



ジヨニーの炸裂日記17

ライスチョコウジヨナ（イラストレーター）

とう弟はクラブでDJデビュー

私が大学生の頃、クラブハウスでDJをやっているという人がヘルパーとして私の支援に入っていた。当時はDJというものに興味が無かったので「そうなんだ」という程度の認識であった。そのヘルパー自身も当時大学生だったため、授業との予定が合わず、しばらくして私のヘルパーからは自然と退くこととなる。

数年後の2015年。同じ障害を持つ私の弟が急に「DJをやる」と言い出した。重度障害でDJなんてできるの？と漠然と想ったりしたが、そこでかつてのそのヘルパーと再び繋がることになった。定期的に我が家に訪れ弟にDJのやり方を師範する、そんな日々が続く、とう

の回数を重ねDJやライブペイ

ントにも慣れてきた頃、そのヘルパーから「そろそろ自分たちのイベントを立ち上げてもいいのでは」と提案される。それまではあくまでも他人が主催するイベントに出演させてもらうという立場だったが、ついに自分達がイベントを主催する機会が訪れたのである。答えは当然「やる」の一つ。しかし「出演する」と「主催する」のでは訳が違う。自分たちで一から企画を練り、出演者を集め、フライヤーを作り、資金を調達。そして何より大変なのは集客だ。どういうイベントにするかは兄弟揃って意見は一致し、弟の分野である「音楽」と私の専門である「アート」を掛け合わせたイベントで、DJたちの音楽が会場を盛り上げ、多くのアーティストが見応えのあるアートを実演する。もちろん弟や私も主宰兼出演者としてパフォーマンスを行う

た。なんとか好評を得てその後第2回、第3回と定期的開催し、

集客も当初の3倍に増えていった。しかし第4回目を企画していた最中、新型コロナウイルスが社会を襲い、イベントは余儀なく中止される。それ以来私たち兄弟はDJやライブペイントの活動を一切行っていない。あれから3年。社会活動にも回復の兆しが見え始め、ついに今回、私たちの念願のイベントを主催する運びとなった。今回はクラブではなく、堀川商店街の中で行う小規模な地域のイベントとする予定だ。大人から子供まで参加でき、参加型のアトもあり。良いイベントになること間違いなし。もちろん私たちもパフォーマンスを行うので、時間のある方はぜひぜひ見に来てください。

日時：6月10日（土）12時～19時
場所：堀川会議室（堀川商店街内・「京極ダイニング」に隣接）

つれづれあらぐさ

場面④ 昼休み、「推し活」で 意気投合する

あらぐさ福祉会は長岡京市にある社会福祉法人で、障害のある人たちの暮らしを支える事業を行っています。1986年に無認可の共同作業所を開所して以降、日中の通所から生活の場、ヘルパー事業所等、地域で暮らし続けるために必要なものを作り出してきました。今回の連載開始にあたり、「障害者の喜びと悲しみ、家族の喜びと苦悩、職員の働き甲斐と先が見えない苦悩…そういうことが浮き彫りになればと思います」とお話をいただきました。日々自分が経験していることや感じていることを通して、それぞれの一場面を綴れたらと思います。なお、内容については個人情報に配慮して構成しています。

仕事の一つに、福祉サービスの利用申し込みに関連しての「外出先の相談」があります。乗り物で行き先を決めている人は、近鉄電車なら奈良や生駒、JRなら須磨や彦根と、その時々に乗りたい電車でご本人が選んでいます。別の人は「どこ行きたい？」と尋ねると、「どこある？」の返答。なるほど、選択するにはまず何があるか知らないと選べません。一緒にインターネットで調べたり居宅介護（ヘルパー）の職員にアイデアをもらったりしながら、毎月の行き先を決めています。

「好きなアニメのカードが欲しいから、たこ焼き屋に行きたい」と伝えに来た彼女。たこ焼き屋とアニメのコラボキャンペーンで、たこ焼きに付いてくるカードに彼女が好きな「推しキャラ」が入っているとのこと。ショッピングモールまで自転車での外出希望でしたが、彼女の住む行政区では自転車に乗っての移動支援は認められていません。そのことを説明すると、「電車だといくらかかるかなあ」「近くのお出かけは、交通費も自分の給料から出すから」と不安そう。その場で、経路と料金を検索しました。

「コースターをキーホルダーにしています」と伝えると、「え、今度見せて」と彼女。好きな映画を何回も観たり（ちよつと書けない回数です）、コラボカフェに通ったり（映画に出てくるメニューを実際に食べられます）と、いろいろ活動中です。たこ焼きのコラボカードは全8種類のランダム配布。開封のドキドキを知っている者として、彼女の好きなキャラクターが出ますように!!と願っています。

ヘルパーと外出する場合、ヘルパー分の交通費や入場料等を負担する必要があります。彼女の場合は療育手帳の割引がないので、往復で1000円弱の電車賃がかかります。たこ焼き代と合わせて、2000円で賄えると分かっています。様子。「ヘルパーさんのたこ焼きは、いつもと一緒にお金出さなくていい？」と言う彼女に、「はい、そうです」と返しました。

次の日、通りがけると「中山さん、これ貼って」と彼女に呼び止められました。じょうろを

中山 恵美子（あらぐさ福祉会）

2+2=詩

「桜の春」

春がきたのを祝うように、
桜の花咲いた
薄紅色は青空に映えて、
嬉しそうに嬉しそうに

春がきたのを告げるように、
桜の花びら舞った
暖かくなってきた風の中、
楽しそうに楽しそうに

春の報せ。花の報せ
寒さは徐々に遠ざかり、
降り続ける雨さえもどこか暖かくて
やってきた春を楽しんで、
桜の木は早々と衣替え
鮮やかな緑の葉衣、
誇らしげに誇らしげに身にまとって、
春の日々を過ごしてる

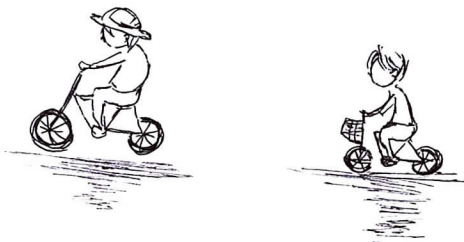


「母のこと」

小春日和の川端通を母と一緒に走って
いつまでこうしてられるだろう

僕の先をいき自転車をこぐ背中は少し曲がっていて
陽の光を受ける頭はいつの間にか白髪だらけで
嫌でもその時が近づいているだろうことを
感じずにはいられない

いつも側にいてくれて。
守ってくれて。
助けてくれて
時に文句を言いながらも
付いていけば大丈夫だと
その背中を追いかけてきた
僕はいつまでこうして
その後ろを追っていられるだろう



365歩のマーチ



38 ショベルカーランド、再び 楽しみにしていますよ。

*

父が野球観戦が好きなため、WBC期間中はずっとテレビで観ていました。大谷フィーバーは我が家にもやってきました。WBC以後、バットでボールを打つことが大好きになったゆいちくん。公園に行くにもバットとボール、そしてキャップをかぶっていきま

す。最初は、2球ほど空振りが続くと「ゆいちくん、やきゆうやーめた」と言っただけで遊具に遊びに行っていました。それが、最近は何晩「やきゆうしよ！」と寝室を球場にみたてて野球をはじめ、打てなくても「つぎはぜったいかつからなあ！」と言いながら、打てないことも含めてくり返し楽しむようになってきました。将来

ゴールデンウィーク、父母の予定があつたり、家でのんびりしたり：一日ぐらいはゆいちくんが楽しめるところに行こうか、というところで2年ぶりにショベルカーランド京都に行ってきました

(本紙2021年2月号・3月号掲載「あこがれのがーがー」)。前回行った写真も日ごろからよく見ていたためかよく覚えており、前日から大はしやぎのゆいちくんは、ショベルカーを運転するふりをして練習、当日の朝は起きると第一声は「きよう、ショベルカーランド、いくんやろ！」でした。道中も車のなかで「ショベルカーランドまだ？」(出発して1分経たず)を連発し、わくわく

が止まりません。ようやく待望のショベルカーランドに到着。待ち時間も早く早速ショベルカーに乗るように2年ぶりのおじちゃんに誘われます。いざショベルカーを目の前にするとどきどき、うまく一歩が出ません。最初は母のひざで乗り一緒にエンジンをかけると、あふれ出るにやつきを止められませんか。おじちゃん「つぎは前に進もうか。お母さんとやる？」と聞かれるとゆいちくんは小さく首を横に振ります。「一人でしたいの？」にこくり。どきどきしながらも、一人でやりたい気持ちは膨らんでいたようです。レバーを倒したり、引いたりしてがたがたと前後に動きます。その後もおじちゃんの指示に一つずつ一回一回うなずきながら教えを守り、レバーを倒してシャベルで土をすくってダンプカーに移したり、工事現場のお兄さんになりきり堪能していました。

(もちろん、おじちゃんがさりげなくお手伝いしてくれませんが)一人で勇敢にショベルカーを運転する3歳児。その四方には「安全第一」の看板が。私有地だからこそこできることですが、あらためて見るとなんとも言えない光景でした。今、「危険だから中止」ということがいろいろなところでみられます。「危険なことを安全にする」、ショベルカーランドに学ぶべき専門性を感じました。

安藤 史郎(あかつきひばり園)

あんどろろう
京都市在住。大阪の寝屋川市にある児童発達支援センターで発達相談員として働いています。

子育てを通して、パートナーや自分の価値観と向き合いながら四苦八苦。ひゅうまん京都の編集もお手伝いさせてもらっています。

ありがとうございます

会費 桐村裕子・西村清忠・福島利夫・松尾英巳・増田康夫・松本義朗・北山ただお
山田和幸・石野清子・木下憲二・谷口良子・井上美紀・射場隆・石黒憲一・小林賢一
中川恵子・西野美幸・平井榮子・南下建一郎・瀧本正史・江村裕之・西山功・百上真奈
かもがわ出版・澤月子・柿並高光・久保村利恵子・関佳子・米盛晴江

知っ得情報

青い鳥郵便葉書の無償配布

代表委員 松本 美津男

日本郵便は、重度障害者の申し込みにより、青い鳥をデザインした封筒に通常葉書を20枚入れて無料で配布します。

1、配布の対象

重度の身体障害者（身体障害者手帳1級又は2級）と重度の知的障害者（療育手帳A）

2、受付期間

4月3日から5月31日まで

3、申し込み方法

近くの郵便局で身体障害者手帳又は療育手帳を提示し、「青い鳥郵便葉書配付申込書」に必要な事項を記入のうえ提出(代理でも可)。

なお、「青い鳥郵便葉書配布申込書」と明記した適宜な用紙に、手帳の種類、手帳番号、級別又は程度、希望するはがきの種類、氏名、手帳の住所（配布先が違う場合はその住所も）、代理人の場合は代理人の氏名・続柄・住所を記入し、近くの郵便局宛に郵送しても良い。

4、問い合わせ先

お客様サービス相談センター

電話番号 0120-23-28-86（無料） 携帯電話からは 0570-046-666（通話料有料）
（平日：8:00～21:00 土・日・休日：9:00～21:00）

1992年6月5日第3種郵便認可（毎月1回25日発行）
2023年5月25日発行 KTK通巻5371号

〒602-8144

発行所 京都市上京区丸太町通黒門東入藁屋町536-1 元待賢小学校1階 京都難病連
京都障害者団体定期刊行物協会 発行人 高谷修（購読料は会費を含む）

あなたもぜひ
仲間に



サロン・サークル・地域活動展開中
生活支援スタッフ(資格不要)募集中
介護職員(資格要)募集中

ひとりぼっちの高齢者をなくそう
元気な高齢者はもっと元気に

「よろず相談」承ります(随時)



あなたも支える存在に
京都市北区紫野東野町1-5
電話075-432-3636

命の平等をかけた、

無差別平等の医療と

福祉の実現をめざす

働くひとびとの医療機関です

看護師・薬剤師・医師や医療技術者を

目指す方をご紹介します



京都民主医療機関連合会

〒615-0004 京都市右京区西院下花田町21-3 春日ビル4階

TEL 075-314-5011(代) FAX 075-314-5017

Home Page <http://www.kyoto-min-iren.org>

e-mail: info@kyoto-min-iren.org